

厚生労働大臣 殿

福井大学長
福 田

福井大学医学部附属病院の業務に関する報告について



標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 18 年度の業務に関して下記のとおり報告
します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	31 人
--------	------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照 (様式第 13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	156 人	129 人	285 人	看護業務補助	45 人	糖エック入線技師	0 人
歯科医師	5 人	8 人	13 人	理学療法士	8 人	臨 床 検査技師	29 人
薬剤師	19 人	7 人	26 人	作業療法士	2 人	衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	2 人	その他	0 人
助産師	6 人	0 人	6 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ 師	0 人
看護師	368 人	46 人	414 人	臨床工学技士	3 人	医 社 会 事 業 従 事 者	2 人
准看護師	0 人	0 人	0 人	栄養士	0 人	その他の技術員	6 人
歯科衛生士	1 人	0 人	1 人	歯科技工士	1 人	事務職員	155 人
管理栄養士	5 人	0 人	5 人	診療放射線技師	24 人	その他の職員	28 人

(注) 数は平成 19 年 10 月 1 日現在

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	464.8 人	5.4 人	470.1 人
1日当たり平均外来患者数	933.6 人	51.7 人	985.2 人
1日当たり平均調剤数	入院 446.3 剤、外来 370.0 剤		

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	0 人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0 人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	0 人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・無	0 人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0 人
・人工中耳	有・無	0 人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0 人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	0 人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	0 人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0 人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0 人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	0 人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	0 人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	0 人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	0 人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	0 人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・無	0 人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	0 人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0 人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	0 人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	0 人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	0 人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	0 人
・抗がん剤感受性試験	有・無	45 人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	2 人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	0 人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	0 人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	3 人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	0 人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0 人
・成長障害のDNA診断	有・無	0 人
・生体部分肺移植術	有・無	0 人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・無	0 人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0 人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	0 人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	10 人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0 人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0 人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	6 人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	10 人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	0 人
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	13 人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	0 人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	0 人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	0 人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	5 人

・カフェイン併用化学療法	有・無	0	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケカルフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲診断	有・無	0	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	0	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	0	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	0	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	0	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	0	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	0	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	2	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	0	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	0	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	0	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block(MAB)治療	有・無	0	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	0	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	0	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	0	人
・抗癌剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	0	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	0	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	0	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	0	人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	0	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	0	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	0	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	0	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	0	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	0	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	0	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	0	人
・活性化血小板の検出	有・無	0	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	16	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	0	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	0	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	0	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	0	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	0	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	0	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	0	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0	人
・橋本脳症の自己抗体の解析	有・無	85	人
	有・無		人
	有・無		人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	24 人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
	有・無	人
	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	24 人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
抗がん剤感受性試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	45 人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1,000 人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0 人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 病 名	取扱い患者数	疾 病 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	12 人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	7 人
・多発性硬化症	19 人	・ウエゲナー肉芽腫症	1 人
・重症筋無力症	16 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	12 人
・全身性エリテマトーデス	43 人	・多系統萎縮症	11 人
・スモン	0 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1 人
・再生不良性貧血	8 人	・膿疱性乾癬	3 人
・サルコイドーシス	33 人	・広範脊柱管狭窄症	4 人
・筋萎縮性側索硬化症	7 人	・原発性胆汁性肝硬変	9 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	35 人	・重症急性膵炎	2 人
・特発性血小板減少性紫斑病	27 人	・特発性大腿骨頭壊死症	30 人
・結節性動脈周囲炎	6 人	・混合性結合組織病	10 人
・潰瘍性大腸炎	26 人	・原発性免疫不全症候群	1 人
・大動脈炎症候群	10 人	・特発性間質性肺炎	12 人
・ピュルガー病	7 人	・網膜色素変性症	19 人
・天疱瘡	10 人	・プリオン病	0 人
・脊髄小脳変性症	18 人	・原発性肺高血圧症	2 人
・クローン病	12 人	・神経線維腫症	7 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	1 人	・バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・パーキンソン病関連疾患	60 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2 人
・アミロイドーシス	9 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1 人
・後縦靭帯骨化症	66 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・ハンチントン病	0 人		

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部門: 年に2回。 病理診断部門: 月に6回。		
剖検の状況	剖検症例数	32例	剖検率 13.9%

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)		補助元又は委託元
抗アポトーシス遺伝子Survivinを分子標的とした白血病の治療の試み	吉田 明	内科学(1)	1,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
プロテオミクス法による橋本脳症の新規自己抗体の探究	藤井 明弘	内科学(2)	2,100	補委	文部科学省科学研究費補助金
糖代謝と超低比重リポ蛋白(VLDL)受容体発現調節機序の解明	高橋 貞夫	内科学(3)	1,100	補委	文部科学省科学研究費補助金
糖尿病性心筋症の発症機序における心筋ホルモン感受性リパーゼの機能解析	鈴木 仁弥	内科学(3)	1,300	補委	文部科学省科学研究費補助金
低酸素性肺高血圧マウスにおける肺循環リモデリングの検討	水野 史朗	内科学(3)	1,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
心血管組織でのDAX-1およびCOUP-TFによるステロイドホルモン制御	稲葉 聡	内科学(3)	1,400	補委	文部科学省科学研究費補助金
胎児・胎盤機能を維持する分子機構の解明と周産期疾患の治療介入についての統合的研究	眞弓 光文	小児科学	4,800	補委	文部科学省科学研究費補助金
糖尿病血管系合併症における分子機構の解明と治療戦略への応用	塚原 宏一	小児科学	1,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
末梢血線維細胞の機能解析による気道リモデリングの危険因子の同定と予防法の検討	大嶋 勇成	小児科学	1,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
抗精神病薬による耐糖能異常発症メカニズムの脳代謝機能イメージング	村田 哲人	精神医学	600	補委	文部科学省科学研究費補助金
高齢者の認知リハビリテーションによる脳機能可塑性のfunctional MRI研究	小坂 浩隆	精神医学	2,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
家族性アルツハイマー病脳におけるアポトーシス誘導機構の比較検討	須藤 哲	精神医学	500	補委	文部科学省科学研究費補助金
マルチフラクタルによる脳MRI画像上の加齢性および病的白質変化の特徴抽出	高橋 哲也	精神医学	600	補委	文部科学省科学研究費補助金
妊よう性温存のための莖捻転解除が卵管機能へ与える影響を解明するための基礎研究	宿南 憲一	精神医学	1,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
医学部学生のための呼吸器画像診断学実習法の確立を目指して	伊藤 春海	放射線医学	1,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
3T高磁場MR撮像装置による非侵襲的血流代謝機能画像の開発および臨床研究	木村 浩彦	放射線医学	2,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
機能画像法による脳血管障害の病態解明とその予防法の開発に関する総合研究	土田 龍郎	放射線医学	5,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
MRIによる肺の構造解析	植松 秀昌	放射線医学	500	補委	文部科学省科学研究費補助金
MRIを用いた腫瘍灌流画像法による子宮癌の生物学的特性に関する研究	小坂 信之	放射線医学	600	補委	文部科学省科学研究費補助金
消化器癌における新規RIN1遺伝子(Variant RIN1)の解析	山口 明夫	外科学(1)	1,400	補委	文部科学省科学研究費補助金
腫瘍内投与磁性体をRF誘導加温することで得られる抗腫瘍効果についての実験的研究	片山 寛次	外科学(1)	1,300	補委	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌におけるH-RAS-RIN1 signaling cascadeの解析	五井 孝憲	外科学(1)	1,600	補委	文部科学省科学研究費補助金
大血管手術後の脊髄障害の発生機序と保護法の研究	森岡 浩一	外科学(2)	1,400	補委	文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
血小板由来内皮細胞成長因子を用いた血管内膜肥厚に対する遺伝子治療の研究	山田 就久	外科学(2)	500	補委	文部科学省科学研究費補助金
血小板由来内皮細胞成長因子の血管新生における作用発現機序の解明	高森 督	外科学(2)	600	補委	文部科学省科学研究費補助金
遺伝子治療を利用した静脈グラフト不全予防法の開発	半田 充輝	外科学(2)	2,600	補委	文部科学省科学研究費補助金
DNAマイクロビーズアレイを用いた脊髄軸索再生因子に関する網羅的遺伝子発現解析	馬場 久敏	整形外科	9,800	補委	文部科学省科学研究費補助金
プロテオミクスを用いた脊髄軸索再生因子に関するタンパク質発現解析	内田 研造	整形外科	1,400	補委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト頸椎間板変性に関するタンパク質発現動態のプロテオーム解析	小久保 安朗	整形外科	500	補委	文部科学省科学研究費補助金
脊髄損傷に対するアデノウイルスベクターを用いた逆行性神経栄養因子遺伝子導入の検討	中嶋 秀明	整形外科	1,400	補委	文部科学省科学研究費補助金
RNA干渉とMagnetofectionによる悪性神経腫瘍に対する抗血管新生療法	久保田 紀彦	脳神経外科	1,300	補委	文部科学省科学研究費補助金
マイクログリアをベクターとする悪性脳腫瘍、転移性脳腫瘍の治療	佐久間 敬宏	脳神経外科	800	補委	文部科学省科学研究費補助金
卵-顆粒膜-莢膜細胞の相互作用による卵の成長・成熟機構の解明	小辻 文和	産科婦人科学	1,900	補委	文部科学省科学研究費補助金
卵胞周囲への莢膜細胞出現メカニズムの研究	折坂 誠	産科婦人科学	1,900	補委	文部科学省科学研究費補助金
超低出生体重児の消化管成熟に向けた治療戦略:肺サーファクタントを用いた動物実験	西島 浩二	産科婦人科学	2,900	補委	文部科学省科学研究費補助金
COX-2遺伝子多型は脳血管障害/下部尿路閉塞に伴う過活動膀胱の防衛遺伝形質か	横山 修	泌尿器科学	11,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
睡眠障害モデルを用いた夜間多尿に関する内分泌学的、分子生物学的研究	横山 修	泌尿器科学	700	補委	文部科学省科学研究費補助金
ストレスに起因する性機能障害における脳由来ニューロステロイドの関与について	中井 正治	泌尿器科学	1,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト先天性水腎症における転写調節因子Id2 遺伝子変異の解析	青木 芳隆	泌尿器科学	1,600	補委	文部科学省科学研究費補助金
アルドース還元酵素阻害剤による線維芽細胞増殖因子の発現調節と糖白内障の再透明化	高村 佳弘	眼科学	1,800	補委	文部科学省科学研究費補助金
アレルギー性鼻炎に対するナノレベルからの機序解明と新治療法開発	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	3,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
TLR3を介した二本鎖RNAによる感音性難聴誘導の試み	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
鼓索神経再建後の味覚機能と再生茸状乳頭・再生味覚神経終末の超微細構造に関する研究	齋藤 武久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,600	補委	文部科学省科学研究費補助金
BlySによるIL-4誘導IgEクラススイッチの解明とアレルギー治療戦略	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,700	補委	文部科学省科学研究費補助金
頭頸部癌細胞におけるIdの働きと抗癌剤・放射線感受性への影響の検討	山本 健人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
IgA腎症患者の口蓋扁桃における細菌感染に対する防御機構の検討	須長 寛	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,100	補委	文部科学省科学研究費補助金
TLR9ノックアウトマウスを用いたアレルギー疾患の発症予防および治療効果の検討	大澤 陽子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,800	補委	文部科学省科学研究費補助金
光増感剤由来の光生成物を活用した舌癌モデルに対するレーザー光線力学的治療の研究	小笠原 利行	歯科口腔外科学	2,200	補委	文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
FDG-PET が反映する口腔癌の生物学的特性の解明	中村 美喜子	歯科口腔外科学	1,200	補委	文部科学省科学研究費補助金
唾液腺癌における maspin の発現と役割について	松浦 宙	歯科口腔外科学	1,100	補委	文部科学省科学研究費補助金
矯正歯科治療における歯根吸収メカニズムの分子生物学的解明	松浦 多喜子	歯科口腔外科学	2,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
低酸素環境における腎疾患の病態解析とその制御	吉田 治義	検査部	800	補委	文部科学省科学研究費補助金
進行性腎障害における脂質転送蛋白と脂質親和性転写因子の抗炎症作用の解析	木村 秀樹	検査部	1,500	補委	文部科学省科学研究費補助金
生体肝移植後の肝容積変化と予後との関連	村岡 紀昭	放射線部	400	補委	文部科学省科学研究費補助金
ヘリコバクター・ピロリにおける胃粘膜上皮細胞増殖因子の探究	山崎 幸直	光学医療診療部	3,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
プリン代謝拮抗剤の薬理・薬物動態に基づく至適投与法の確立	山内 高弘	内科学(1)	400	補委	(財) 痛風研究会
マイクロアレイを用いた新しい敗血症診断技術の開発と実用化	岩崎 博道	内科学(1)	2,000	補委	(独) 科学技術振興機構研究成果活用プラザ石川
糖尿病性腎症における組織発現の特性調査に関する研究	此下 忠志	内科学(3)	4,000	補委	(独) 医薬基盤研究所
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究(第III相臨床試験)	山口 明夫	外科学(1)	105	補委	(財) 先端医療振興財団
Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発 high-risk 群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	山口 明夫	外科学(1)	53	補委	(財) 先端医療振興財団
体外受精の着床率向上に向けた新規卵機能マーカーの確立	折坂 誠	産科婦人科学	2,000	補委	(独) 科学技術振興機構研究成果活用プラザ石川
頭頸部扁平上皮癌根治治療後の T S-1 補助化学療法の検討	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	210	補委	(財) 先端医療振興財団

計 14件

合計 62件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Nucl Med Mol Imaging, 33, 7, 879-886, 2006, 7.	Comparative assessment of ^{18}F -fluorodeoxyglucose PET and $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -tetrofosmin SPECT for the prediction of functional recovery in patients with reperfused acute myocardial infarction.	A. Nakano	内科学 (1)
Leukemia & Lymphoma, 47, 8, 1599-1607, 2006, 8.	A precise pharmacodynamic study showing the advantage of a marked reduction in cardiotoxicity in continuous infusion of doxorubicin	S. Kishi	内科学 (1)
Cancer Sci, 97, 11, 1274-1278, 2006, 11.	A new, simple method for quantifying gemcitabine triphosphate in cancer cells using isocratic high-performance liquid chromatography.	T. Yamauchi	内科学 (1)
Int J Hematol, 85, 2, 108-115, 2007, 2.	Fludarabine-mediated circumvention of cytarabine resistance is associated with fludarabine triphosphate accumulation in cytarabine-resistant leukemic cells	T. Yamauchi	内科学 (1)
Int J Cardiol, 4:108, 2, 231-236, 2006, 4.	Effects of long-term oral treatment with selective vasopressin V2 receptor antagonist (OPC-31260) on adriamycin-induced heart failure in rats.	T. Ueda	内科学 (1)
Cancer Res, 66, 11, 5772-5780, 2006, 6.	Inhibition of glutathione synthesis overcomes bcl-2-mediated topoisomerase inhibitor resistance and induces nonapoptotic cell death via mitochondrial-independent pathway.	A. Yoshida	内科学 (1)
Int J Hematol, 84, 1, 31-37, 2006, 7.	Endonuclease activation and chromosomal DNA fragmentation during apoptosis in leukemia cells.	A. Yoshida	内科学 (1)
Translational Res, 148, 4, 207-213, 2006, 10.	Candin family antifungal agent micafungin(FK463) modulates the inflammatory cytokine production stimulated by lipopolysaccharide in THP-1 cells	H. Iwasaki	内科学 (1)
The Journal of Immunology, 177, 4841-4852, 2006, 07.	Collaborative action of NF- κ B and p38 MAPK is involved in CpG DNA-induced IFN- γ and chemokine production in human plasmacytoid dendritic cells	Y. Urasaki	内科学 (1)
透析会誌, 40, 2, 177-181, 2007.	ステロイド療法が著効した橋本脳症の透析患者の一例	栗山 勝	内科学 (2)
Diabetes Care, 29, 848-852, 2006, 4.	Tissue gene expression of renin-angiotensin system in human type 2 diabetic nephropathy	T. Konoshita	内科学 (3)
FEBS J, 273, 13, 3094-3105, 2006, 6.	Characterization of human deoxyribonuclease I gene (DNase I) promoters reveals the utilization of two transcription-starting exons and the involvement of Sp1 in its transcriptional regulation	Y. Kawai	内科学 (3)
Eur. Heart J, 27, 17, 2081-2087, 2006, 9.	Association of Gln222Arg polymorphism in the deoxyribonuclease I (DNase I) gene with myocardial infarction in Japanese patients	I. Miyamori	内科学 (3)
Int J Oncol, 29, 2006, 7.	Inhibition of synuclein-gamma expression increases the sensitivity of breast cancer cells to paclitaxel treatment	S. Inaba	内科学 (3)
気管支学, 28, 5, 359-364, 2006, 7.	右気管気管支を伴った右上葉肺葉内肺分画症の1例	宮森 勇	内科学 (3)
日本呼吸器学会雑誌, 44, 12, 899-905, 2006, 12.	胸部異常陰影精査のFDG-PETで検出された消化管癌の検討.	宮森 勇	内科学 (3)
Pediatr Nephrol, 21, 5, 683-687, 2006, 5.	Urinary creatinine excretion and protein/creatinine ratios vary by body size and gender in children	Y. Mori	小児科学
Medical Postgraduate, 44, 4, 415-417, 2006, 10.	Hepatocyte growth factor concentration in umbilical cord blood	R. Kobata	小児科学
Free Radic Res, 40, 11, 1198-1205, 2006, 11.	Evaluation of a urinary multi-parameter biomarker set for oxidative stress in children, adolescents and young adults	S. Tamura	小児科学
日児誌, 110, 12, 1671-1675, 2006, 12.	初診時に左心房内への進展を呈していた胸腺肺芽腫の1例	田村 知史	小児科学
Pediatr Int, 48, 2, 185-186, 2006, 4.	Neonatal suppurative parotitis possibly associated with congenital cytomegalovirus infection and maternal methylidopa administration	Y. Todoroki	小児科学
Pharma Medica, 24, 5, 126-129, 2006, 5.	胎児超音波検査でPotter sequenceを疑われ、出生後urosepsisの管理に難渋した多発性嚢胞腎の1女児例	古畑 律代	小児科学
Neurol Sci, 27, 1, 74-77, 2006, 4.	Region-specific induction of hypoxic tolerance by expression of stress proteins and antioxidant enzymes	Y. Wada	精神医学
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry, 30, 6, 1159-62, 2006, 8.	Plasma levels of adiponectin and tumor necrosis factor-alpha in patients with remitted major depression receiving long-term maintenance antidepressant therapy	Y. Wada	精神医学
Int J Neuropsychopharmacol, 2006, 9.	A comparative study of the plasma membrane permeabilization and fluidization induced by antipsychotic drugs in the rat brain	Y. Wada	精神医学

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroimage, 32, 3, 1158-66, 2006, 9.	Multifractal analysis of deep white matter microstructural changes on MRI in relation to early-stage atherosclerosis	Y. Wada	精神医学
Int Psychogeriatr. 6, 1-8, 2006, 12.	Association between trait anxiety and endothelial function observed in elderly males but not in young males	Y. Wada	精神医学
J Neurol Neurosurg Psychiatry, 77, 12, 1376-80, 2006, 12.	Abnormal pontine activation in pathological laughing as shown by functional magnetic resonance imaging	Y. Wada	精神医学
J Neural Transmission, 2007.	Topological and chronological features of the impairment of glucose metabolism induced by 1-methyl-4-phenylpyridinium ion (MPP+) in rat brain slices	Y. Wada	精神医学
Neurotoxicology, 2007.	Biphasic mechanism of the toxicity induced by 1-methyl-4-phenylpyridinium ion (MPP+) as revealed by dynamic changes in glucose metabolism in rat brain slices	Y. Wada	精神医学
Progress in Neuro-psychopharmacology and Biological Psychiatry, 2007.	Effects of haloperidol and its pyridinium metabolite on plasma membrane permeability and fluidity in the rat brain	Y. Wada	精神医学
J Psychopharmacology, 2007.	Effects of vitamin E supplementation on plasma membrane permeabilization and fluidization induced by chlorpromazine in the rat brain	Y. Wada	精神医学
Bipolar Disorder, 2007.	Chronic lithium treatment exerts neuroprotection against hypoxia in specific brain regions via upregulation of CREB and BDNF but not NGF: comparison with acute lithium treatment	Y. Wada	精神医学
J Am Acad Dermatol, 532-536, 2006, 4.	Primary cutaneous signet ring cell carcinoma expressing cytokeratin 20 immunoreactivity	T. Kiyohara	皮膚科学
皮膚科の臨床, 48, 6, 777-780, 2006, 6.	豆乳摂取後にアナフィラキシーを生じた2例	井戸 敏子	皮膚科学
日本皮膚外科学会誌, 10, 2, 144-145, 2006, 7.	頭部Superficial Basal Cell Carcinomaに対する整容的な手術方法	安田 聖人	皮膚科学
Brit J Dermatol, 155, 3, 640-641, 2006, 9.	Fasciitis panniculitis syndrome and advanced gastric adenocarcinoma in association with antibodies to single-stranded DNA	T. Ido	皮膚科学
Am J Dermatopathol, 28, 5, 446-448, 2006, 10.	Rippled-Pattern Sebaceoma : A Report of a Lesion on the Back With a Review of the Literature	T. Kiyohara	皮膚科学
Visual Dermatology, 5, 12, 1220-1221, 2006, 11.	思わぬ露とし穴 10年間の腹部の紅斑を伴った結節がマンソン孤虫症だった1例	石田 久哉	皮膚科学
Neuroimage, 32, 3, 1158-66, 2006, 9.	Multifractal analysis of deep white matter microstructural changes on MRI in relation to early-stage atherosclerosis	H. Kimura	放射線医学
J Nucl Med, 47, 10, 1581-1586, 2006, 10.	Diagnosis of misery perfusion using noninvasive O-15 gas PET.	T. Tsuchida	放射線医学
Eur J Nucl Med Mol Imaging, 34, 1, 121-129, 2007, 1.	Can reductions in baseline CBF and vasoreactivity detect misery perfusion in chronic cerebrovascular disease?	T. Tsuchida	放射線医学
Nucl Med Biol, 34, 2, 205-210, 2007, 2.	In vivo imaging of estrogen receptor concentration in the endometrium and myometrium using FES PET - influence of menstrual cycle and endogenous estrogen level.	T. Tsuchida	放射線医学
Int J Hypertherm, 22, 4, 275-285, 2006, 6.	Effects of bafilomycin A1, a vacuolar type H+ ATPase inhibitor, on the thermosensitivity of a human pancreatic cancer cell line.	K. Katayama	外科学 (1)
Chirurgia, 19, 3, 219-221, 2006, 6.	Popliteal artery disruption following complete dislocation of the knee.	A. Ihaya	外科学 (2)
J Vasc Surg, 44, 6, 1322-1328, 2006, 12.	Platelet-derived endothelial cell growth factor gene therapy for limb ischemia.	N. Yamada	外科学 (2)
Journal of Surgical Research, 137, 1, 69-74, 2007, 1.	Edaravone reduces ischemia-reperfusion injury mediators in rat liver.	M. Taniguchi	外科学 (2)
周産期医学, 36, 6, 787-790, 2006, 6.	プロテインS低下症が原因と考えられた妊娠初期妊婦の深部静脈血栓症の1例-カプロシン皮下注射を用いた周産期管理-	井俣 彰夫	外科学 (2)
Photomed Laser Surg, 24, (3), 414-423, 2006, 6.	Salvage operation for persistent low back pain and sciatica induced by percutaneous laser disc decompression performed at outside institution: Correlation of magnetic resonance imaging and intraoperative and pathological findings	H. Baba	整形外科
J Neurosurg Spine, 4, (6), 454-462, 2006, 6.	Anterior expandable strut cage replacement for osteoporotic thoracolumbar vertebral collapse	K. Uchida	整形外科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn. J. Rheum. Joint Surg, 25, (1), 59-63, 2006, 7.	Acetabular fracture causing delayed bladder laceration and extensive urinary leakage: an unusual case report	Y. Kokubo	整形外科科学
Jpn. J. Rheum. Joint Surg, 25, (1), 65-70, 2006, 7.	A 30 year-old pseudo-arthritis of type II fracture of the odontoid process with intermittent sub-occipital discomfort: a report of an unusual case	T. Yayama	整形外科科学
Spine, 31, (17), 1867-1874, 2006, 8.	Targeted retrograde transfection of adenovirus vector carrying brain-derived neurotrophic factor gene prevents loss of mouse (twy/twy) anterior horn neurons in vivo sustaining mechanical compression	H. Baba	整形外科科学
Spinal Cord, 44, 8, 509-513, 2006, 8.	Cervical angina: a seemingly still neglected symptom of cervical spine disorder?	H. Baba	整形外科科学
Eur Spine J, 15, (12), 1759-1767, 2006, 12.	Anterior versus posterior surgery for osteoporotic vertebral collapse with neurological deficit in the thoracolumbar spine	H. Baba	整形外科科学
Spine, 32, (6), 627-634, 2007, 3.	Motor neuron involvement in experimental lumbar nerve root compression. A light and electron microscopic study	H. Baba	整形外科科学
Spinal Cord, 44, (6), 393-398, 2006, 6.	Cruciate paralysis and hemiplegia cruciata: report of three cases	T. Yayama	整形外科科学
Jpn. J. Rheum. Joint Surg, 25, (4), 489-496, 2007, 1.	Ochronotic arthropathy requiring bilateral hip and knee joint arthroplasty: case study	Y. Kokubo	整形外科科学
J Clin Neurosci, 13, 3, 397-400, 2006, 4.	Cervical extradural meningioma with rapidly progressive myelopathy. -Case Report-	T. Kubota	脳脊髄神経外科学
Neuropathology, 26, 2, 158-160, 2006, 4.	Fine structural study of cerebral tumor characterized by honeycomb appearance after 20 years postmortem interval.	久保田 紀彦	脳脊髄神経外科学
J Neurooncol, 78, 1, 15-18, 2006, 5.	Mitotic activity of multinucleated giant cells with glial fibrillary acidic protein immunoreactivity in glioblastomas: an immunohistochemical double labeling study.	T. Kubota	脳脊髄神経外科学
Spine, 31, 18, 2059-2066, 2006, 8.	Neuronal loss and expression of neurotrophic factors in a model of rat chronic compressive spinal cord injury.	T. Kubota	脳脊髄神経外科学
J Neurooncol, 79, 3, 271-279, 2006, 9.	Gene expression profiles of 1-(4-amino-2-methyl-5-pyrimidinyl)-methyl-3-(2-chloroethyl)-3-nitrosourea (ACNU)-resistant C6 rat glioma cells.	T. Kubota	脳脊髄神経外科学
Eur J Nucl Med Mol Imaging, 34, 1, 121-129, 2007, 1.	Can reductions in baseline CBF and vasoreactivity detect misery perfusion in chronic cerebrovascular disease?	Y. Arai	脳脊髄神経外科学
Mol. Reprod. Dev, 73, 737-744, 2006, 6.	Effects of ovarian theca cells on granulosa cell differentiation duringgonadotropin-independent follicular growth in cattle.	Kotsuji, F.	産科婦人科学
Pediatric Research, 60, 2, 195-199, 2006, 8.	Micelles of pulmonary surfactant in human amniotic fluid at term	F. Kotsuji	産科婦人科学
Biol. Reprod, 75, 734-740, 2006, 11.	Granulosa cells promote differentiation of cortical stromal cells into theca cells in the bovine ovary.	Kotsuji, F.	産科婦人科学
Nucl Med Biol, 34, 2, 205-210, 2007, 2.	In vivo imaging of estrogen receptor concentration in the endometrium and myometrium using FES PET - influence of menstrual cycle and endogenous estrogen level.	Y. Yoshida	産科婦人科学
Gynecol Oncol, 104, 764-6, 2007, 3.	The positron emission tomography with F18 17beta-estradiol has the potential to benefit diagnosis and treatment of endometrial cancer.	F. Kotsuji	産科婦人科学
J Reprod Med, 51, 7, 584-586, 2006, 7.	Microperforate hymen in a primigravida in active labor: A rare clinical encounter.	F. Kotsuji	産科婦人科学
J Obstet, 26, 6, 589, 2006, 8.	A benign solitary uterine leiomyoma on the pelvic peritoneum detected long after the hysterectomy for fibroids.	F. Kotsuji	産科婦人科学
日排尿会誌, 17, 2, 250-256, 2006.	Overactive bladder questionnaire (OAB-q) の日本語版の計量心理学的検討	横山 修	泌尿器科学
J Sex Med, 3(4), 723-726, 2006, 7.	Dehydroepiandrosterone alleviates copulatory disorder induced by social stress in male rats.	Y. Miwa	泌尿器科学
Urology, 68, 2, 318-23, 2006, 8.	Symptom assessment tool for overactive bladder syndrome--overactive bladder symptom score	O. Yokoyama	泌尿器科学
J Urol, 176(3), 1236-1241, 2006, 9.	A selective alphaA-adrenoceptor antagonist inhibits detrusor overactivity in a rat model of benign prostatic hyperplasia	O. Yokoyama	泌尿器科学

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Urol, 177, 2, 771-775, 2007, 2.	Improvement in bladder storage function by tamsulosin depends on suppression of C-fiber urethral afferent activity in rats.	O. Yokoyama	泌尿器科学
Int J Urol, 14, 3, 226-31, 2007, 3.	Effects of opioid subtypes on detrusor overactivity in rats with cerebral infarction.	O. Yokoyama	泌尿器科学
Invest. Ophthalmol. Vis. Sci, 47, 2061-2064, 2006, 5.	Correlation between adult diabetic cataracts and red blood cell aldose reductase levels.	N. Oishi	眼科学
Mech Ageing Dev. 127(3), 249-256, 2006, 8.	Development-and age-associated expression pattern of peroxiredoxin 6, and its regulation in murine ocular lens.	Kubo E.	眼科学
耳鼻咽喉科臨床, 99, 4, 295-298, 2006, 4.	褥創用軟膏が有効であった喉頭全摘術後喉頭皮膚癢症例.	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Nuclear Medicine and Biology, 33, 743-750, 2006, 5.	Double-tracer autoradiography with Cu-ATSM/FDG and immunohistochemical interpretation in four different mouse implanted tumor models.	S. Fujieda	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
The Journal of Immunology, 177, 4841-4852, 2006, 7.	Collaborative action of NF-κB and p38 MAPK is involved in CpG DNA-induced IFN-α and chemokine production in human plasmacytoid dendritic cells	S. Fujieda	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
日鼻会誌, 45, 42-44, 2006, 7.	鼻由来線維芽細胞によるB細胞の制御	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
耳鼻咽喉科免疫アレルギー, 24, 218-219, 2006, 9.	口蓋扁桃由来線維芽細胞におけるBlyS発現	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Facial Nerve Research, 26, 117-119, 2006, 12.	くも膜嚢胞に接して存在した顔面神経精髄の一例	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Genes to Cells, 12, 235-250, 2007, 1.	Vlgr1 is required for proper stereocilia maturation of cochlear hair cells	S. Fujieda	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Otology Japan. 16(5), 565-569, 2006.	急性低音障害型感音難聴と抗利尿ホルモンについて.	真鍋 恭弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Acta Otolaryngol. 126(3):301-305, 2006.	P57(kip2) expression is related to carcinogenesis and tumor progression in laryngeal tissues.	Fujieda S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Clinical Immunology. 118:51-58, 2006.	Double-stranded RNA induces production of RANTES and IL-8 by human nasal fibroblasts.	Noboru Takahashi	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Oral Diseases, 12, 415-419, 2006.	Influence of administration methods on the accumulations of ALA-induced Pp-IX in mouse tongue tumors.	T. Ogasawara	歯科口腔外科学
J Vasc Interv Radiol, 17, 1681-1685, 2006, 10.	Endovascular treatment for an iliac artery-ureteral fistula with a covered stent	Noriaki Muraoka	放射線部
Neurosurgery, 60, (ONS Suppl 1), ONS-E171-ONS-E172, 2007, 2.	A case of nerve root heat injury induced by percutaneous laser disc decompression performed at an outside institution: Technical case report.	S. Kobayashi	リハビリテーション部
Clin Rehabil, 20(3), 239-245, 2006, 4.	Effect of compensation procedures for velocity on repeatability and variability of gait parameters in normal subjects	S. Kobayashi	リハビリテーション部
J Orthop Res, 24(7), 1509-1520, 2006, 7.	Microvascular system of anterior cruciate ligament in dogs	S. Kobayashi	リハビリテーション部
Arch Phys Med Rehabil, 87(11), 1436-1441, 2006, 11.	Effect of disease severity on response to lateral wedged shoe insole for medial compartment knee osteoarthritis	S. Kobayashi	リハビリテーション部
Hypertension Research, 29, 573-580, 2006, 4.	Synthetic/Secreting and apoptotic phenotypes in renal biopsy tissues from hypertensive nephrosclerosis patients	H. Yoshida	検査部
Pediatr Nephrol, 21, 5, 683-687, 2006, 5.	Urinary creatinine excretion and protein/creatinine ratios vary by body size and gender in children	H. Yoshida	検査部
Neuroimage, 32, 3, 1158-66, 2006, 9.	Multifractal analysis of deep white matter microstructural changes on MRI in relation to early-stage atherosclerosis	H. Yoshida	検査部
Clin Exp Nephrol, 10, 3, 186-192, 2006, 12.	Correlation of tissue macrophages and cytoskeletal protein expression with renal fibrosis in patients with diabetic mellitus	H. Yoshida	検査部
Int Psychogeriatr, 6, 1-8, 2006, 12.	Association between trait anxiety and endothelial function observed in elderly males but not in young males	H. Yoshida	検査部

計 25件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 上田 孝典	
管理担当者氏名	総務管理課長 田中 一彦 医療サービス課長 三上 隆美 医療安全管理部長 熊切 正信 放射線部長 横山 修	経営企画課長 吉原 正啓 医療情報部長 藤枝 重治 薬剤部長 政田 幹夫

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		病院部医療サービス課(総務), 薬剤部, 放射線部, 医療情報部	外来診療録は, 1患者1ファイル。 入院診療録は, 1患者1入退院1ファイルで病歴室において中央管理している。 電子診療録として, 1患者1ファイルを医療情報部において管理している。
----- 各科診療日誌		----- 各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事労務課	
	高度の医療の提供の実績	病院部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院部総務管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院部総務管理課	
	閲覧実績	病院部総務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院部医療サービス課	
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院部医療サービス課及び薬剤部	
規則第9条の2, 3及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に應じる体制の確保状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には, 個々の記録について記入する必要はなく, 全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 上田 孝典
閲覧担当者氏名	総務管理課長 田中 一彦
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	〇件
閲覧者別	医師	延	〇件
	歯科医師	延	〇件
	国	延	〇件
	地方公共団体	延	〇件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	49.5%	算定期間	平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日
算 出 根 拠	A：紹介患者の数		6,181 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,867 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,082 人
	D：初診の患者の数		19,619 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員： 専任 (2名) 兼任 (17名) ・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理委員会への情報提供及び改善等の提案に関すること。 (2) オカレンスの収集、調査、分析及び防止策に関すること。 (3) オカレンス報告システムで報告された医療上の事故について、影響レベルの判定に関すること。 (4) 医療上の事故防止に係る提言及び指導に関すること。 (5) 医療安全管理に関する教育、研修及び啓発に関すること。 (6) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確、かつ、十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (7) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (8) 各部門のリスクマネージャーとの連絡調整及びリスクマネージャー会議の運営に関すること。 (9) その他医療の安全管理に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
・ 指針の主な内容： (1) 医療に係る安全管理の基本的考え方 (2) 医療に係る安全管理の体制 (3) 職員研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全確保の改善方針に関する基本方針 (5) 医療上の事故発生時の対応に関する基本方針 (6) 医療従事者と患者様との間の情報の共有に関する基本方針 (患者様等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む) (7) 相談への対応に関する基本方針 (8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理の指針に関すること。 (2) 医療安全管理の対策及び改善に関すること。 (3) 医療安全管理に係る指導及び助言に関すること。 (4) その他医療安全管理の重要事項に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7回
・ 研修の主な内容： (1) 全職員を対象に、平成18年7月7日に東京大学から講師を招聘し、「診療行為に関連した死亡の調査・分析モデル事業」とこれからの医療安全管理の講演を行った。 (2) 全職員を対象に、平成18年8月4日に院内講師による「医療上の事故発生時の対応について」、「MRSA感染防止について」の研修を行った。 (3) 全職員を対象に、平成18年11月17日に国立病院機構福井病院から招聘した講師及び院内講師による「中規模市中病院におけるICT活動の実践効果」、「オカレンスを改善に生かす」の研修を行った。 (4) 全職員を対象に、平成19年2月21日に山形先端医療研究所から講師を招聘し、「患者の視点を知る！—具体的事例に基づく接遇向上—」の講演を行った。 (5) 全職員を対象に、平成19年3月15日に院内講師による「手術部位感染 (SSI) サーベイランスについて」、「スタンダードプリコーションについて」、「衷心静脈カテーテル留置時、留置中の重篤なオカレンスとその管理」の研修を行った。 (6) 全職員を対象に、平成19年3月27日に「平成18年度の当院のオカレンスとその対応について」の研修を行った。 (7) 研修医、新規採用看護師、希望する医療従事者を対象に、平成18年度中に医療メーカーの協力を得て「留置針の使い方」、「安全MRI検査を行うために」、「輸液・シリンジポンプの使い方 (基礎)」、「安全な酸素療法を行うために」、「安全に人工呼吸器を使う為に」、「輸液・シリンジポンプでおこるオカレンス (応用)」などの研修を行った。	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： オカレンスは電子報告システムへ入力することにより医療安全管理部に報告され、GRMと部員が日々モニタリングを行い、必要時現場確認を行う。また、内容により各科部等における対策の確認が必要な場合は、医療安全管理部長より文書で対策の提出を依頼し、部会で内容を確認する。 医療安全推進月間を定め、重要事項を決めて医療事故防止に取り組んでいる。 昨年は、病棟間相互チェックを実施し、今年も実施予定である。また、院内パトロールも実施している。	